

令和7年度

「運営に関する計画」  
(最終評価)

大阪市立玉造幼稚園

令和7年3月

1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

- 本園は、広い敷地の中に、多種類の木々や、築山、川、芝生などの起伏に富んだ園庭があり、自然環境に恵まれている。その中で、子どもたちは思う存分体を動かして遊び、園生活を楽しんでいる。広い場での多岐にわたる遊びにおいて、一人一人の子どもが安全への意識をもつことが重要である。そこで、全教職員が共通理解し、子どもたちと話し合いながら遊びのルールづくりを進めるなど、安全への意識を高めていきたいと考えた。
- 園生活に入るまでの子どもたちは、個人差はあるが、限られた人との関わりの中で育ってきている。園生活が始まり、今までに関わったことのない人に出会うと、どうしてよいかわからず戸惑っている姿が見られる。まずは、幼稚園生活を安心して過ごせるように、互いにまるごと受け入れられる人間関係を築きたいと考えた。そして、自分の思いを出したり、相手の思いに耳を傾けたりしながら、教え合ったり助け合ったりする子どもに育てていきたい。
- 本園の子どもたちは、大人と話をすることは好むが、いざという場面ではっきりと思いを出しにくい姿があるように感じる。大人が子どもの思いを先にくみとってしまわないように保護者に啓発するとともに、日々の様々な活動を通して、自分の思いや考えを伸び伸びと表現する子どもを育みたい。
- 子どもたちは、身の回りの清潔に関する基本的な生活習慣は身に付けている。しかし、自分に健康についてはあまり関心がないように思う。園では、子どもたちが自分の健康に興味や関心をもち、自ら必要性を感じたり友達と一緒にやってみようという意欲をもったりしながら生活習慣を身に付けられるよう、家庭と連携しながら保健指導に取り組みたい。

**中期目標**

**【安全・安心な教育の推進】**

- 令和7年度末の保護者向けのアンケート調査で、「<園庭での遊び方>や<廊下では歩く>などのきまりを守ろうとするなど、お子さまの安全への意識が高まってきましたか」の項目について、肯定的な回答の割合を毎年80%以上にする。
- 令和7年度末の保護者向けのアンケート調査で、「自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりして、互いにまるごと受け入れ、助け合う気持ちをもつようになりましたか」の項目について、肯定的な回答の割合を毎年80%以上にする。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

- 令和7年度末の保護者向けのアンケート調査で、「様々な活動の中で、自分の思いや考えを表現し、試したり、工夫したりするようになりましたか」の項目について、肯定的な回答の割合を毎年80%以上にする。
- 令和7年度末の保護者向けのアンケート調査で、「幼稚園は、子どもが自分の健康に興味や関心をもつように努めている」の項目について、肯定的な回答の割合を毎年80%以上にする。

**【学びを支える教育環境の充実】**

- 教職員が積極的に研修に取り組み、自身の資質向上を図る。
- 令和7年度末の保護者向けのアンケート調査で、「幼稚園は、園内の活動の様子や子どもの育ちを地域や保護者に発信しようと努めている」の項目について、肯定的な回答の割合を毎年80%以上にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【安心・安全な教育の推進】

- 令和7年度末の保護者向けのアンケート調査で、「<園庭での遊び方>や<廊下では歩く>などのきまりを守ろうとするなど、お子さまの安全への意識が高まってきましたか」の項目について、肯定的な回答の割合を80%以上にする。
- 令和7年度末の保護者向けのアンケート調査で、「自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりして、互いにまるごと受け入れ、助け合う気持ちをもつようになりましただか」の項目について、肯定的な回答の割合を80%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度末の保護者向けのアンケート調査で、「様々な活動の中で、自分の思いや考えを表現し、試したり、工夫したりするようになりましただか」の項目について、肯定的な回答の割合を80%以上にする。
- 令和7年度末の保護者向けのアンケート調査で、「幼稚園は、子どもが自分の健康に興味や関心をもつように努めている」の項目について、肯定的な回答の割合を80%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 教職員が積極的に研修に取り組み、自身の資質向上を図る。
- 令和7年度末の保護者向けのアンケート調査で、「幼稚園は、園内の活動の様子や子どもの育ちを地域や保護者に発信しようと努めている」の項目について、肯定的な回答の割合を80%以上にする。

## 3 本年度の自己評価結果の総括

### 【安心・安全な教育の推進】

- ・安全な生活習慣においては、子どもたちの遊びが変化していくため、教師が日々の様子をしっかりと見守り、安全な遊び方を再確認し、子どもたちとの話し合いの時間をもつことが必要であると感じた。また、園庭開放中の遊び方については、保護者への継続した啓発が必要である。教職員が保護者に根気強く声をかけることで、双方から子どもたちに言葉かけをするようになり、子どもたちが安全に遊べるようになってきていると感じる。
- ・様々な子どもが在籍する中で、教職員が受け止め、子ども同士が互いに受け止め合えるような働きかけをすることで、子どもにとっては見本となり、助け合ったり、受け入れ合ったりする姿が見られるようになった。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・1学期から、子どもたちが自分で考えて工夫できるような環境の見直しを行ったことで、進んで様々な遊びを楽しむようになった。こども展覧会や生活発表会などの行事に向かう中で、考えたことや工夫したことをいろいろな人に認められ、自信をもって過ごす子どもが増えた。3学期には、遊びを発展させたり、少し難しいことに挑戦したりする姿が多く見られ、友達と一緒に遊ぶ楽しさを十分に感じて過ごすことができた。
- ・子どもの実態に合わせた保健指導を毎月実施することで、自身の健康に関心をもつ子どもが増えた。また、継続した「せいけつしらべ」の取組は、毎日ティッシュとハンカチを持ってくるという意識を保護者の方にももってもらえる機会となった。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- ・教員が増えたことにより園内研修会が充実し、また研究部のテーマで指導要請を実施したことにより、教員が自分の保育を振り返ったり、多面的に子どもを捉えたりすることができ、資質向上につながった。
- ・ホームページの更新だけでなく、保育参観や降園時に保育内容を伝達することなどを通して、教職員一人一人が、保護者に伝えたいことを考え言語化するようになり、保育のねらいが明確化され、教員自身の資質向上につながった。また、幼稚園教育の内容や子どもの育ちを保護者に伝えることで、園と保護者が共に手を携えて子どもの育ちを支えていくことの大切さを啓発することにもつながっている。

大阪市立玉造幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

|      |                     |                        |
|------|---------------------|------------------------|
| 評価基準 | A：目標を上回って達成した       | B：目標どおりに達成した           |
|      | C：取り組んだが目標を達成できなかった | D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標  | 達成状況     |
|---|----------|
| <p><b>【安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>○令和7年度末の保護者向けのアンケート調査で、「&lt;園庭での遊び方&gt;や&lt;廊下では歩く&gt;などのきまりを守ろうとするなど、お子さまの安全への意識が高まってきましたか」の項目について、肯定的な回答の割合を80%以上にする。</p> <p>○令和7年度末の保護者向けのアンケート調査で、「自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりして、互いにまるごと受け入れ、助け合う気持ちをもつようになりましたか」の項目について、肯定的な回答の割合を80%以上にする。</p> | <b>B</b> |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標   | 進捗状況     |
|--|----------|
| <p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>安全な生活に必要な習慣が身に付くような指導を工夫する。</p> <hr/> <p>指標 ・安全な生活に必要なきまりを子どもたちと話し合ってつくり、学期に1回見直しをする。</p>                             | <b>B</b> |
| <p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>自分の思いを伝え、相手の思いを聞こうとする子どもの育成に努める</p> <hr/> <p>指標 ・自分の思いを話したり、友達の話を聞いたりする機会を週2回以上つくる。<br/>・担任同士で子ども1人につき、月1回以上振り返る機会をつくる。</p> | <b>B</b> |

| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析  |
|--|
| <p><b>年度目標の達成状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度の保護者向けの最終アンケート調査で、「お子様は、年度当初よりも、&lt;園庭での遊び方&gt;や&lt;廊下では歩く&gt;などのきまりを守ろうとするなど、お子さまの安全への意識が高まってきましたか」の項目について、肯定的な回答の割合は92.6%であった。</li> <li>令和7年度の保護者向けの最終アンケート調査で、「お子様は、年度当初よりも、自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりして、互いにまるごと受け入れ、助け合う気持ちをもつようになりましたか」の項目について、肯定的な回答の割合を90.2%であった。</li> </ul> <p><b>取組内容①</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1学期当初に園庭での遊び方について5歳児が話し合い、安全に遊ぶために必要なきまりをつくった。そのきまりを4歳児、3歳児にも知らせ、幼稚園内での共通理解を図った。また、子どもたちがつくったきまりをわかりやすくまとめた園庭の安全マップを作成して保護者に配付したり、園庭の掲示板に貼りだししたりし、園庭開放中も安全に遊べるように共通理解を図った。</li> <li>2学期以降、「廊下は歩こう」と子どもたち同士で伝え合う姿は見えてきていたが、幼稚園のみんなでもっと安全に過ごせるようにと、2学期後半に「廊下は歩こう」のポスターをつくった。子どもたちがよく通るところに貼ったり、貼る際も近くにいる友達に知らせ合ったりした。全学年で、日々安全に過ごせるように意識が高まってきた。</li> <li>園庭の築山をスコップ等で掘って遊ぶことで、場所によっては植物の根が丸見えになってい</li> </ul> |

たり、落とし穴のようになっていたりする箇所があった。また、転んだときにけがをするような石が芝生や園庭の広いところに落ちており、石を集めて遊んでいる子どもが、あちこちで落としているようであった。築山や園庭での遊び方について、教職員間で再度確認し合い、全学年での集会の場面で子どもたちに遊び方について周知した。

#### 取組内容②

- ・ 3歳児では、教師が子どもの思いを丁寧に受け止め、話に耳を傾ける関わりを大切にしてきた。また、子どもの思いを代弁したり、教師と一緒に友達へ伝えたりする援助を行うことで、思いが相手に届く嬉しさを感じるようになってきた。その中で、友達の存在を意識し、相手の様子や思いに少しずつ気付き始める姿が見られ、幼稚園生活における様々な経験や活動を通して、友達と関わったり一緒に遊んだりすることを楽しむ子どもが増えてきている。
- ・ 4歳児では、4月当初は、自分の気持ちを友達にうまく伝えられない姿があったが、教師が思いを受け止め、相手に伝える方法を一緒に考え、一緒に伝えるなどの援助を続けてきたことで、次第に、自分で思いを伝えたり、友達の思いを聞こうとしたりする姿が見られるようになった。また、活動の振り返りなどで、自分の思いを教師や友達の前で話す機会を設け、緊張する気持ちにも寄り添い、思いを言葉にできるよう援助してきたことで、自分の思いを意欲的に伝えようとする姿が増えてきた。また、友達に話を聞いてもらい受け止めてもらえる喜びに共感することで、友達の話に耳を傾ける姿も見られるようになってきた。
- ・ 5歳児では、遊びの後や降園時などに、考えたことや気付いたことを共有できるようほぼ毎日話し合いの場を設けた。1学期は自分の思いや考えを教師や友達に伝えることができるよう、教師が言葉を補ったり仲介をしたりしながら話し合うようにしてきた。話し合いを積み重ねることで、友達に積極的に質問したり、自分で言葉を選びながら話をしたりする姿が見られた。2、3学期には教師が介さなくても、子ども同士が会話をし思いを伝え合う姿が増えてきた。普段から教師が子ども同士で思いを伝えたり、認め合ったりできるような保育を行ってきたため、子どもたちは友達に対して認めたり励ましたりしている姿や、友達に自分の思いを伝えようとする姿が多く見られた。
- ・ 教師が子どもの気持ちを受け止め、自分の思いを出せるよう援助してきたことで、子ども同士でも受け入れ合ったり助け合ったりする姿が見られるようになった。2月に生活発表会があり、それぞれのクラスで劇遊びや楽器遊びを楽しんだ。活動の中で友達の姿を見て、困ったときには声をかけたり、劇遊びの立ち位置やセリフを教え合ったりと子ども同士で助け合う姿が見られた。1年間同じクラスで過ごしたことで互いを理解し、受け入れ合って仲を深めることができた。
- ・ 二人の担任で、子ども一人一人の様々な姿や課題などについて月1回以上話し合い、子どもの実態の共通理解を図っている。具体的なエピソードを共有しながら、多面的に子どもを捉えることができるよう意識し、保育内容の見直しや環境の再構築、子どもの姿に応じた援助などに生かしている。日々の保育の中でも、その都度気付いたことを共有し振り返ることで、教師間の連携を深め、タイミングのよい働きかけや個に応じた援助へとつなげている。

#### 次年度への改善点

#### 取組内容①

- ・ 1学期初めに安全マップをつくっていたが子どもたちが遊んでいく内に他にも危険なことが出てきたのでそれらを踏まえて更新していく必要がある。
- ・ 園庭開放中の保護者の子どもの看護に関して、年度当初は保護者が意識して子どものことを見ているが3学期になり、保護者の方が見ていない場面が見受けられる。安全マップを活用しながら園庭開放中の遊び方を年間を通して周知していく。

#### 取組内容②

- ・ 各学年で幼児の実態に合わせて、教師が子どもの思いや気付きなどを受け止めるようにしたことで、次第に子ども同士でも自分の思いを話したり、相手の思いを聞いたりする姿が見られるようになった。今後も二人担任の点を生かし、多面的に子どもたちを見守ったり、時には声かけをしたりして素直に思いを伝え合うことができる環境をつくっていく。

大阪市立玉造幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

|                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 評価基準 A：目標を上回って達成した  | B：目標どおりに達成した           |
| C：取り組んだが目標を達成できなかった | D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標  | 達成状況 |
|---|------|
| <p><b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>○令和7年度末の保護者向けのアンケート調査で、「様々な活動の中で、自分の思いや考えを表現し、試したり、工夫したりするようになりましたか」の項目について、肯定的な回答の割合を80%以上にする。</p> <p>○令和7年度末の保護者向けのアンケート調査で、「幼稚園は、子どもが自分の健康に興味や関心をもつように努めている」の項目について、肯定的な回答の割合を80%以上にする。</p> | B    |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標  | 進捗状況 |
|---|------|
| <p>取組内容①【基本的な方向3 幼児教育の推進と質の向上】</p> <p>子どもが試したり、工夫したりして遊ぶ楽しさを感じられるような環境構成や教育的意図をもった働きかけを工夫する。</p>                      | A    |
| <p>指標 ・子どもが試したり、工夫したりして遊ぶ楽しさを感じられるような環境構成や教育的意図をもった働きかけについて、月1回以上協議する。</p>  |      |
| <p>取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>健康的な生活習慣（生活リズム・清潔・口腔衛生）を身に付けることができるような保健指導や保護者啓発を行う。</p>                            | B    |
| <p>指標 ・年11回以上保健指導をし、その様子を掲示物で保護者に伝える。</p> <p>・「健康的な生活習慣について」を掲載したほけんだよりを年12回発行する。</p> <p>・学期に1回以上、「せいけつしらべ」を実施する。</p> |      |

| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析   |
|---|
| <p><b>年度目標の達成状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度の保護者向けの最終アンケート調査で、「お子様は、年度当初よりも、様々な活動の中で、自分の思いや考えを表現し、試したり、工夫したりするようになりましたか」の項目について、肯定的な回答の割合が98.4%であった。</li> <li>令和7年度の保護者向けの最終アンケート調査で、「幼稚園は、子どもが自分の健康に興味や関心をもつように努めている」の項目について、肯定的な回答の割合が86.9%であった。</li> </ul> <p><b>取組内容①</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6月には指導要請に向けて室内遊びの環境を話し合い、工夫した。いろいろな素材を使ってお寿司をつくって遊び、土粘土では、足で踏んだり手でこねたりしながら好きな形をつくったり、水を混ぜることによって硬さが変化することに気付き、硬さを調節しながら遊んだりした。</li> <li>水遊びの時期には、園庭で試したり工夫したりして遊べる環境を教師間で話し合って整えた。花によって出る色が違うことや濃い色水のつくり方などを友達と見合ったり教え合ったりしながら工夫していた。</li> </ul> |

- ・泥団子づくりでは、土の硬さや性質に気付いたり、しっかりと丸めるために工夫したり、泥団子をつくりやすい土のある場所に気付いたりしていた。5歳児は発見したことを友達に伝えており、その姿を見守り認めることで、継続して遊んでいた。
- ・室内遊びでは、3歳児は多数のカップを並べたり積み上げたりして遊び、4歳児は紙飛行機での羽の形や手で持つ場所を工夫し、5歳児は友達と考え協力しながら平板積み木を高く積み、自分たちが入れるほどの大きさの建物をつくっていた。
- ・11月頃は、「こども展覧会」に向けて、かいたりつくったりして遊ぶ中で試したり工夫したりする姿があった。5歳児はお話の世界の中で、必要なものを友達と一緒に考え、協力しながら、個人の作品や大きな作品を工夫してかいたりつくったりし、4歳児は、長さの違う紐やリボンを自分なりに考え組み合わせながら形をつくることを楽しみ、3歳児は、箱を組み合わせで偶然できた形から電車や車をつくったり、細長い箱をうさぎの耳に見立ててつくったりすることを楽しんでいた。
- ・生活発表会の劇遊びでは、年齢の発達に合わせた題材を用意し、子どもたちが考えた表現を取り入れるようにした。登場人物の気持ちを考えたり、友達の表現する姿を見て気付いたりしたことを話し合いで共有し、どうすればさらに楽しくなるか、いろいろと話しながら楽しむ姿があった。
- ・毎月の職員会議では、各行事の打ち合わせをする際、ねらいや環境構成について話し合い、共通理解を図った。また、毎週末、子どもたちが試したり、工夫したりして遊ぶ楽しさを感じられるような環境構成や教育的意図をもった働きかけを学年や各クラスで話し合っただけで週案を立て、環境をその都度整えた。

#### 取組内容②

- ・保健指導においては、4月「手洗い・うがい」、5月「早寝早起きの大切さ」、6月「衣服の着脱と畳み方（年少）」、「プライベートパーツ（年中・年長）」、7月「熱中症予防」、9月「けがの予防と手当て」、10月「三色食品群」、11月「あいうべ体操」、12月「風邪予防」、1月「排泄とトイレ」、2月「姿勢」に関する指導を実施した。3月には「ふわふわ言葉とちくちく言葉」の保健指導を実施予定である。保健指導後には、掲示物を作成し、玄関に掲示するとともにホームページで保護者に内容を知らせた。
- ・5月号、7月号では「熱中症予防」、6月号では「肌着の必要性」、8月号では「食事のポイント」、9月号では「正しい靴の選び方」や「食中毒予防」について、10月・11月号は「食育」、12月・1月号は「感染症の予防」、冬休み号は「生活習慣全般」2月号は「睡眠」3月号は「1年のまとめ」と、毎回、健康的な生活習慣に関する内容を掲載したほけんだよりを12回発行した。
- ・①手の爪が伸びていないか②足の爪が伸びていないか③ハンカチをポケットに入れているか④ティッシュをポケットに入れているかの4項目をチェックする「せいけつしらべ」を、1学期は6月、2学期は9月、3学期は2月に実施した。今年度から1回目で全ての項目に丸が付くと花丸スタンプ・2回目以降で全ての項目に丸が付くと小さいスタンプを押すことにした。花丸スタンプの割合は、1学期は約40.9%、2学期は約61%、3学期は67.5%と回を重ねるごとに増えており、子どもや保護者のせいけつしらべに関する意識が高まっていった。

#### 次年度への改善点

#### 取組内容①

- ・これからも、いろいろな遊びの中で、試したり工夫したりすることを楽しめる環境構成を工夫する。
- ・教職員数が多く全教員が職員会議に参加できないため、話し合った内容の共有が難しい。一人一人が伝達することを心がけ、できるだけ共有できるようにする。

#### 取組内容②

- ・これからも毎月保健指導を行い、健康的な生活習慣を身に付けられるようにする。また毎月のほけんだよりに、保健指導の様子を掲載し、保護者に伝える。
- ・次年度も毎学期「せいけつしらべ」を実施し、清潔に関する意識を高めていけるようにする。

大阪市立玉造幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

|      |                     |                        |
|------|---------------------|------------------------|
| 評価基準 | A：目標を上回って達成した       | B：目標どおりに達成した           |
|      | C：取り組んだが目標を達成できなかった | D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標   | 達成状況 |
|--|------|
| <p><b>【学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>○教職員が積極的に研修に取り組み、自身の資質向上を図る。</p> <p>○令和7年度末の保護者向けのアンケート調査で、「幼稚園は、園内の活動の様子や子どもの育ちを地域や保護者に発信しようとしている」との項目について、肯定的な回答の割合を80%以上にする。</p> | A    |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標   | 進捗状況 |
|--|------|
| <p>取組内容①【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>教員同士が互いに学び合い、向上心をもって日々の保育に取り組めるようにする。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研究保育を、16回以上実施する。</li> <li>・就学前教育カリキュラムを活用した週案、日案を作成し、保育に取り入れる。</li> <li>・1人3回以上記録を書き、その都度協議する。</li> </ul> | A    |
| <p>取組内容②【基本的な方向9 家庭・地域との連携・協働した教育の推進】</p> <p>地域や保護者と連携した教育内容を計画するとともに、就学前教育の周知方法を工夫する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園ホームページを教員1人当たり月1回以上更新し、幼稚園の様子や子どもの育ちを発信する。</li> <li>・学年だよりを月1回作成する。</li> </ul>                       | A    |

| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析  |
|--|
| <p><b>年度目標の達成状況</b></p> <p>・令和7年度の保護者向けの最終アンケート調査で、「幼稚園は、園内の活動の様子や子どもの育ちを地域や保護者に発信しようとしている」との項目について、肯定的な回答の割合が95.1%であった。</p> <p><b>取組内容①</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研究保育とその討議会を担当が一人一回以上計画し、5月に2回、6月に4回、9月に2回、10月に4回、12月に2回、1月に3回、2月に2回、計19回実施した。客観的な視点で話し合うことで、子どもの実態や教師の援助について多面的に考えることができ、また、日頃の保育について振り返ることができ、よい学びの場となった。勤務がシフト制であることから、毎回園内研究に参加することは難しいが、ICT機器を利用して動画を撮り、参加できなかった教師にも内容やその後の討議会の内容を周知するようにしている。</li> <li>・就学前教育カリキュラムを活用した週案を作成し、知・徳・体をバランスよく育めるように努めながら保育を進めている。就学前教育カリキュラム研修会をはじめ、様々な研修会に進んで参加し、使用した資料を回覧したり、口頭で知らせたりして学びを教員間</li> </ul> |

で共有している。

- ・ 5月、7月、9月にそれぞれ1回ずつ、計3回記録を書き、全体で協議した。日々の保育を多面的な視点で振り返り、幼稚園での育ちが小学校の学びにどのようにつながっていくのかを考えることができた。
- ・ 6月には指導要請を実施し、夏の園庭の遊びや室内遊びについての保育案を作成し、保育を行った。クラスの実態や、保育の流れ内容など、保育案を作成することで自身の保育を振り返ることができ、また、当日の保育や教育的意図をもった働きかけなどについても、協議を通して学ぶことができた。
- ・ 教職員対象に、「研究保育や実践記録の検討、園内研修会の実施などが、自身の資質向上につながった」という項目でアンケート調査を実施したところ、肯定的回答の割合が100%となり、互いに学び合い、自身の保育実践につなげようとしていることがわかった。

#### 取組内容②

- ・ 幼稚園ホームページで保育活動の様子や園庭開放の情報を発信した。写真付きで子どもの遊びの様子や育ちを保護者と共有することができ、分かりやすく伝えられるようになった。また、教員一人につき月1回以上更新することで、様々な視点から子どもの様子を伝える機会となった。
- ・ 各クラス1枚ホワイトボードがあり、その日の保育内容を記入し掲示した。降園連絡を聞くことが難しい2号認定児や預かり保育参加児の保護者も保育内容を知ることができるように工夫した。
- ・ 月末には学年だよりを作成し、その月の保育や子どもの育ち、教師の働きかけなどを保護者に分かりやすく伝えるようにした。また、幼稚園内に掲示するだけでなく、ホームページにも載せ、じっくりと見られるようにしたことで保護者の方により見てもらえるようになった。

#### 次年度への改善点

#### 取組内容①

引き続き、計画通り進めていく。

#### 取組内容②

- ・ 昨年度の反省でホームページを更新したことを職員で周知するとあったが、あまりできていなかった。玄関での掲示だけでなく、ホームページを更新した職員が職員会議で伝え、降園連絡時に保護者へホームページ更新を伝えることができるようにするなど、対策に努めていきたい。